

## 研究計画概要

助成年度・種別	2017年度 若手研究助成
研究者	高橋康史
所 属	筑波大学大学院人文社会科学研究科
研究テーマ	犯罪者を家族にもつ人びとのスティグマ対処に関する研究：アイデンティティを再構築する過程
研究計画概要	<p>この研究の目的は、犯罪者を家族にもつ人びとが、いかにしてスティグマ（社会的に与えられる負の烙印）に対処しているのかを明らかにすることである。これまでの研究では、犯罪者を家族にもつ人びとは、スティグマによって自己アイデンティティをめぐる問題をもつことが明らかにされている。それに対して、彼／彼女らは戦略的な自己呈示やパッシングを実践することによって、日常生活場面におけるスティグマに対処していることが明らかになっている。しかし、彼／彼女らがスティグマを負わされた自己アイデンティティをどのように再構築しているのは明らかにされていない。</p> <p>そこで、犯罪者を家族にもつ人びとに対するインタビュー調査を実施する。彼／彼女らのスティグマと自己に関する語りを、理論的な視点から分析することによって、アイデンティティの再構築過程を描き出し、彼／彼女らのスティグマ対処の一形式を実証的に明らかにする。こうした犯罪者を家族にもつ人びと自身の経験を描き出すことは、彼／彼女らの主体的な〈回復〉に関する新たな知見を明示することに繋がりと考えられる。</p>
選考委員からのコメント	<p>犯罪者を家族に持つ人々は、社会的に付与されるスティグマにどう対処し、アイデンティティを再構築していくのか。本研究は、犯罪者を家族に持つ人々を対象としたインタビュー調査を実施して、彼らの語りを分析することにより、このテーマに挑む。学術的な貢献とともに、犯罪者家族の社会的復権に寄与するという実践的意義も期待できる。申請者はこのテーマに関するレフェリー論文をすでに有し、また準備状況も良好なところから、成果に期待する。</p>